雜報

▣講演部から

古諺に曰く、損の大ならざるものは益も亦少なりと。宜なるかな。大苦の後には大樂あり。小苦の後に大樂あらず。爭鬪は成功の父にてぞある。默して雄辯家たらんを欲するは座して僥倖を希ふ者なり。聖祖宣はく、一生空しく過して萬歲悔ゆる事勿れと。相構へて不斷の努力を忘るべからざるなり。當部の發展も會員各自の努力如何に因るのみ。今昨秋以來當部の對他の一部を記する事如左。

▣說教　九月二日豐岡村清子妙法講員の爲、同村雲澤寺に於て溝田、松木、小阪田三名の說教ありき。

▣說教　九月四日同五日の兩日、波木井圓實寺に於て施餓鬼法要を修するに當り、溝田、松木出張し同地信者の爲說教あり法益充滿す。

▣幻燈　九月十日飯富村本成寺內朝尊祭禮に際し、溝田、松木、川口等出迎ひ數百の群參の爲め高祖の幻燈會を開きて、信心增進せしむる所多かりき。

仝月十二日本村中町山口屋旅館に於て教育幻燈を催されたり。

▣幻燈並に說教　九月廿五日(舊八月十日)陸合村本郷妙善寺觀世音祭典に、森、松木菊池出張し、同地善男女の爲め幻燈並に說教あり。法益甚大なりき。

▣大會幻燈　十月十三日は例年の通り幻燈後高等部生の通夜說教ありて報恩の念轉だ增す。同夜幻燈辯士は森、松木、藤田、荒木、坂本(玄)等なりき。

▣幻燈說教　舊九月十二日、十月廿五日)奧之院の法難會にて、森、松木、藤田登院幻燈會に續き通夜說教をなし、深信の善男女と俱に其の當時を追想し奉る事切なり。

▣說教　十月廿六日大須成村藥王寺千部會に際し、森、松木、出張し老若爲めに法雨に潤ふ。

▣本妙庵祭禮　十月卅一日夜例歲の通り中等部五年級並びに高等部生の通夜あり、和尙の德を追慕す。

▣七面山祭典　十一月三日高等部全部登山通夜說教幻燈等ありたり。齋堂の對機感涙に袖を濕す。(秀月)

▣文學部から

當部は先きに部長の御辭職なされるのと時を同じうして、吾々の要求を充すべき先決問題の進取の爲め、財務の上に多少の控へ目を生じた。十月早速發行する積りであつたが、一時延期と云ふことにして原稿の募集も停止したが、新部長に深澤教授を仰いで、新春を迎へると共に會員諸君の援助によつて、芽出度く本誌の發行を見るに到つたことは、本會の爲め大いに喜んで頂きたい。

何時も念頭から離れないのは雜誌縱覽所の新設である。まだ其の運びに達しないことは眞に遺憾とする所である。不本意ながら第一教室を臨時縱覽所として、且らく時を待つより外はない。偖て縱覽所に置く雜誌の總てが諸君のものである。よし、日々の新聞其の他の雜誌は愛讀されるであらうしかし大部分に於いて時間を徒費する人が多い、決して全部とは云はぬ。拾ひ讀み位

はやつて頂きたい。猥りに新しいことを望むわけではないが、一般常識の涵養は雜誌の愛讀が最もよく援助に足ると思ふ。間々既習の正課と照し合せるさへ甚だ有益なことがある。

多讀々々！　根深ければ枝茂し、源遠ければ流長しの金言は、只一片の文章として讀み去るべきではない。素養の充實した人こそ眞に能く榮譽を致すものである。枝の繁茂することのみ羨んで根の蔓延を怠るならば微風もよくこれを倒すであらう。況してや大風に堪え得やうか。徒らに偉人の榮譽を羨んで素養を怠り、一時の虛名に憧るゝ者は、世の所謂金泊者流である。吾功名心の強き同窓の志士よ、實力を養ひそして素養の深きを望まれよ。世の大家と呼ばるゝ地位の人、其の根底は皆之に因ることを考へられよ。（古章生）

運動部より

外の部は盛にやり出すのに、我が運動部は種々の障碍が起つて少しも振はない。運動場は未だ新設の運びに至らず、校舍建築の爲め取り拂はれたトラツペースや遊動木や鐵棒は其儘だし、實に今の我が部は手も足も伸ばせない。けれども十一月庭球の道具を新調してから大分活氣づいて來た。鶯谷寮前の假運動場には此の寒いのにも關らずラケットの音が勇ましく響いて居る。

例年御大會の慰勞として行はれる茸狩りは、都合があつて中止した代りに、十一月廿三日には小室山へ日歸りの遠足を企てた。此日參加せし六十の健兒は藤田田附故崎等四名の教授に引率せられて、午前六時本院を出發し、勇ましく校歌を高唱しつゝ前進した。途中下山、切石等にて少憩し茶菓の饗應を受け、鬼嶋妙現寺にて午餐を喫し○時半小室山へ着いた。諸堂を參拜し寶物等を拜觀し厚く禮を述べて歸途に就いた。途中法論石に六百餘年の昔を偲び、午後三時鰍澤に出た。此處より隊は二つに分れ一は陸上を徒歩にて、他の一隊は船の便を借りて船で歸る事となつた。陸上隊は約十五名其の早き者は六里の道を約三時間で歸り、三門迄乘船隊を迎ひに行つた位だ。吾輩も陸上隊の一員であつたが餘り疲れもせなかつた。翌日直ちに運動場で飛び廻つた位だ。歩く事は非常に体の爲めによい。時々遠足はやり度いと思つて居る。

終りに此日我々を優遇されし方々に厚く御禮申します。（R O 生）

金品寄贈者芳名

（次第不順）

一金貳　圓　森田前教頭殿
一金五　拾錢　駿州平原唯遠殿
一金壹　圓　中巨摩中村是本殿
一金壹　圓　本郡清水玄正殿
一金壹　圓　飯富本成寺殿
一金貳　拾錢　會員大村學英君
一金六　拾錢　中村瑞義殿
一金六　拾錢　身延奥ノ院殿
一金五　圓　本院殿
一金貳　圓　伊豆本村遵祥殿
一金五　拾錢　身延望月寛榮殿
一金五　圓　堀之内妙法寺殿
一金壹　圓　岐阜釋覺圓殿
一金壹　圓　本院脇本執事殿
一金九　拾錢　身延米山某殿
唯一（毎號）大阪日宗唯一青年團殿

大崎學報(仝上)　東京　日連宗大學殿
日宗新聞(仝上)　東京　日宗新聞社殿
三　寶(仝上)　仝　森江書店殿
天　皷(仝上)　千葉　天皷社殿
山家學報(仝上)　東京　伊藤海聞殿
唱　導(仝上)　京都　唱導社殿
法華經講義　山形　早船金次郎殿

大正七年四月十二日印刷
大正七年四月十五日發行
山梨縣甲斐郡身延村
編輯人　深澤敬明
山梨縣甲斐郡身延村
發行人　猪口海靜
山梨縣南巨摩郡櫛形町本町
印刷人　依田眞明
山梨縣南巨摩郡櫛形町本町
印刷所　古久紋印刷所　電話二三番
發行所　祖山學院同窓會

禁轉載